

第2回 横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会 会議録	
日 時	平成26年9月11日(木) 13時30分～16時55分
開催場所	横浜新関内ビル 11階会議室
出席者	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太田秀樹 委員長(中央大学 教授) ・石川芳治 委員(東京農工大学大学院 教授) ・稲垣秀輝 委員(株式会社環境地質 代表取締役社長) ・海老原佐江子 委員(A.佐川法律事務所) ・谷 和夫 委員(独立行政法人防災科学技術研究所 研究員) ・二木幹夫 委員(一般財団法人ベターリビング 常務理事) <p>【横浜市建築局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂和伸賢(建築局長) ・久松義明(建築局企画部防災担当部長) ・石井 保(建築局企画部建築防災課がけ・狭あい担当課長) ・水谷年希(建築局企画部建築防災課担当係長) ・清野 修(建築局企画部建築防災課) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古木 淳(建築局宅地審査部長) ・藤井康次郎(建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当課長) ・佐藤弘之(建築局宅地審査部宅地審査課担当係長) ・小杉理子(建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・吉村匡裕(建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) ・石射 卓(建築局宅地審査部宅地審査課宅地企画担当) <p>【調査受託者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用地質株式会社
欠席者	—
開催形態	一部公開(傍聴者0名、報道機関4名)
議題等	<p>1 開会</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 会議内容の公開及び非公開について</p> <p>(2) 第1回委員会の振り返り</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 第1回委員会の議事録確認</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 第1回委員会における各委員の意見概要と当該意見に対する本市対応(案)について</p> <p>(3) 宅地耐震化推進事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 本市宅地耐震化推進事業の基本方針(案)及び事業スケジュール(案)について</p>

	<p>イ 第二次スクリーニング計画のまとめ方について</p> <p>ウ 造成地内の空洞調査の委託（案）について</p> <p>(4) がけ地防災対策事業について</p> <p>ア がけ地防災対策事業の全体制度概要</p> <p>イ 緊急応急対策工事助成金制度の報告</p> <p>ウ がけ地減災対策工事助成金制度（案）</p> <p>※ 議題 1 から議題 2 (1)まで公開</p>
決 定 事 項	<p>1 本委員会の審議事項について、横浜市の保有する情報の公開に関する条例 31 条に基づき、次回の委員会より非公開とする。</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>(事務局) 皆さん、今日はお忙しい中、お集まりいただき、本当にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第 2 回横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会を始めたいと思います。</p> <p>まず、審議に先立ちまして、事務局から事務的な連絡をさせていただきます。では、事務局、お願いします。</p> <p>(事務局) 【会議の成立、本日の審議事項、配布資料、委員長代理（谷委員を指名）について、事務局より説明】</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 会議内容の公開及び非公開について</p> <p>(太田委員長) 今日は、たくさんのご審議をいただきますので、フルスピードでやりたいと思います。</p> <p>ちょうど今年是新潟の地震があつて 50 年。その時、液状化など、大変な被害が起きましたが、その後 10 年くらいかけてハザードマップを作りました。けれど、今から 40 年前、土地の値段が下がるなど色々理由があり、まだそれを公表することはできなかった。当時、既にヨーロッパではハザードマップは一般に出ていましたが、日本は少し遅れている。今は日本でも当たり前のようにハザードマップが出ていて、だんだん時代が変わってきている。危険地帯をお知らせするということと、個人の財産のバランスが、だんだん皆に知ってもらうという方向に移っていったということです。</p> <p>では、まず事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局) 【事務局より【資料－ 1】横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会の非公開について説明】</p> <p>(太田委員長) このことについては、海老原先生に色々教えてもらいながら決めた</p>

	<p>ということで、委員の方々、このような形でよろしいですか。</p> <p>(委員)【異議なし】</p> <p>(太田委員長) 最新号のネイチャーにスイスの記事が出ていました。スイスは海はないけれど、おそらくレマン湖などで津波が問題になっているようです。あそこもアルプスなので、500年に1度くらい地震があり、津波が起きる可能性がある。それをかなり大々的に議論しているようです。やはり向こうの方が開示という意味では、はるかに日本より進んでいると思います。</p> <p>ところで、この非開示の件、何かご意見があったら、言ってください。よろしいでしょうか。</p> <p>(委員)【特に意見無し】</p> <p>(事務局) では、次回からは非公開ということにさせていただきます。</p> <p>(2) 第1回委員会の振り返り</p> <p>(3) 宅地耐震化推進事業について</p> <p>(4) がけ地防災対策事業について</p> <p>上記(2)～(4)については、</p> <p>① 崩壊のおそれのある造成地の選定に及ぶため意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあること、</p> <p>② 未成熟な情報により市民の誤解や憶測を招き、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、</p> <p>「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第7条第2項第5号に規定する「非開示情報」に該当する。</p> <p>このため、当委員会における審議は、同条例第31条第2号「非開示情報に該当する事項を審議する場合」に該当し、また、公開により公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されると認められ、当委員会の決定により公開しないこととしており、同条第3号にも該当することから、非公開とする。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 第2回横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会次第</p> <p>(2) 第2回横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会 配付資料一覧</p> <p>(3) 【資料－1】横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会の非公開について</p> <p>(4) 【資料－2】第1回横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会会議録</p> <p>(5) 【資料－3】第1回委員会における委員からの意見への市の対応(案)</p> <p>(6) 【資料－4】横浜市宅地耐震化推進事業の基本方針(案)</p> <p>(7) 【資料－5】宅地耐震化推進事業の公表スケジュール(案)</p> <p>(8) 【資料－6】追加現地踏査計画</p>

	<p>(9) 【資料－7】 造成年代の分類に関する第二次スクリーニングの対象検討について</p> <p>(10) 【資料－8】 第二次スクリーニングにおける調査計画（案）</p> <p>(11) 【資料－9】 安定解析手法の手引き（案）（仙台市公開資料）</p> <p>(12) 【資料－10】 造成盛土の空洞調査とその対策について（案）</p> <p>(13) 【資料－11】 がけ地防災対策事業の全体制度概要</p> <p>(14) 【資料－12】 緊急応急対策工事助成金制度の報告</p> <p>(15) 【資料－13】 がけ地減災対策工事助成金制度（案）</p> <p>(16) 【資料－14】 減災工法一覧</p> <p>(17) 【資料－15】 新工法一覧</p> <p>※ 議題 2 (2)から(4)までが非公開のため、資料(4)から資料(17)までは非公開</p> <p>2 次回開催について（予定）</p> <p>日時 平成 27 年 1 月 19 日（月）14 時 00 分から</p> <p>場所 横浜新関内ビル 11 階会議室</p>
--	---

※本会議録は委員及び会議関係者で確認の上、内容を確定しています。